

感染症情報 9月4日～10日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①RSウイルス感染症	728例(堺市	55例)
②感染性胃腸炎	629例(堺市	26例)
③溶連菌感染症	321例(堺市	18例)
④手足口病	272例(堺市	16例)
⑤ヘルパンギーナ	123例(堺市	6例)

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	33例(堺市	1例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週から11.1%減の2,382件であった。前週に引き続きRSウイルス感染症が第1位で以下、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナの順であった。

RSウイルス感染症は府下で前週比7%減、堺市で前週比14%減であった。定点当たりで見ると、前週が3.9→今回3.6になった。2位の感染性胃腸炎は府下で前週比16%減、堺市も16%減であった。溶連菌感染症は府下で前週比29%増、堺市で14例→今回18例であった。当科周囲で増加している感がある。手足口病は府下で前週比26%減、堺市で前週16例→今回16例で同数であった。ヘルパンギーナは府下で前週比32%減、堺市では前週9例→今回6例となった。

インフルエンザは府下で前週53例→今回33例に減少した。堺市では前週0であったが、今回1例が報告された。

麻疹や風疹の報告はなかった。